

昭和59年度の配水管理を終えて

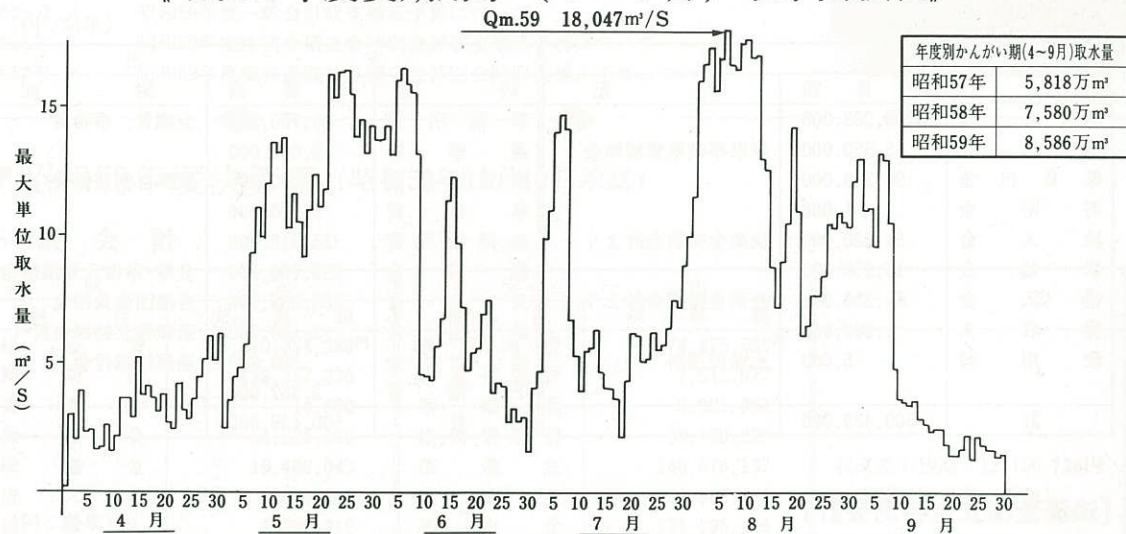
昨年は、平年にくらべ降雨量が少なく当改良区以外の地域では節水がさげば新聞紙上をにぎわしておりましたが、当改良区内では、その様なこともなく無事に通水を終えることができました。これは一重に皆様方の日頃より水に対する御尽力と御協力の賜ものと思います。

さて、通水時期になりますと、施設の管理者として、非常

に迷惑をしながら水路の清掃作業に毎日職員が走り回っております。上水道の水が人間の飲料水であれば、農業用水は我々の大切な耕地の飲料水です。

多額の費用を投じた水路を有効に利用すべく、水路等へは「ゴミ」を投棄しない様に組合員の皆様も監視し、注意を与えていただきますようご協力をお願いします。

《昭和59年度夏期用水（4～9月）取水実績表》



事務局から

◆公共事業等による農地の潰滅について◆

公共事業用地（道路、河川、学校、公民館、鉄塔敷地等）取得は農地転用の手続きを必要としないため、本土地改良区では、それに起因する区域内の農地（受益地）の潰滅状況を把握することが困難であり、このため、台帳からの除籍が出来ないため引続き賦課される場合が多い。除籍するには土地改良法第43条による組合員の資格得喪の通知義務に基づく地区除外処理規程により手続をし所定の決済金を納めていただかなくてはなりません。

用地買取等の話し合いの時点において、決済金について、事業主体と十分話し合いをされて、どちらが支払うかを決めて、必要な決済を了し台帳から除籍するようお願いします。又地目変更をされる場合もこれに

準じて処理されますのでご承知下さい。

◆配水地(受益地)の所有権、耕作権の異動または組合員の名義変更等をされた場合は土地改良法第43条の規定により組合員の資格得喪の通知を土地改良区にすることが義務づけられておりますので、その都度土地改良区までお届け下さい。届出がないと組合名簿の修正ができないので組合員の皆様にご迷惑をかけることとなりますのでご注意ください。

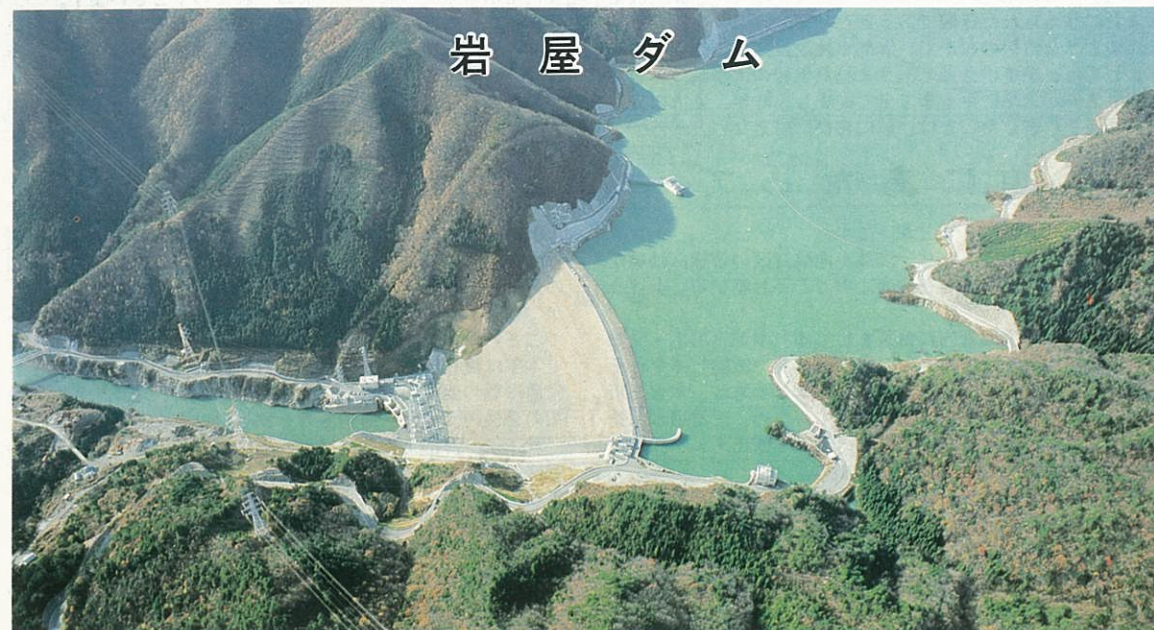
◆水難事故防止について◆

本年も通水時期が間近にせまっております。各小中学校には学童生徒の用水路附近での遊戯について注意していただくようお願いしてありますが組合員の皆様におかれても危険な遊びを見かけましたら注意を喚起していただくようご協力下さい。

海部土地改良区広報

表題 吉川 博

昭和60年1月1日発行 No.10
 発行所 海部土地改良区
 所在地 津島市西柳原町1-14
 電話 津島(0567)28-1965
 印刷 一葉綜合印刷(株)



昭和60年の新春を迎えて

明けまして おめでとうございます。

昭和60年の新春を迎え、組合員の皆様をはじめ、関係各位には、常日頃、当土地改良区に対し、ご支援と、ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。昨年7月総代、役員のご改選にあたり、皆様方の信任をいただき、私は五たび理事長の重責を担うことになりました。浅学非才の身でございますが、粉骨砕身努力する覚悟であります。何卒宜敷く御願致します。

木曾川用水事業の発足当時を顧りみて皆様方と共に、事業の実現に向けて、只ひたむきに走り続けてまいりました。昨年3月事業のすべてが完了致しまして、現在は維持管理に万全を期しております。

最近の気象状態は極めて不安定であります。愛知、矢作、豊水用水関係では、干天続きのため、肝心の水がためであるダムの貯水量が減り、昨年だけでも数回にわたり節水を余儀なくされかんがい用水に支障をきたしている現状であります。幸いにして、木曾川用水におきましては、通水以来一度も水不足による節水をしたことはなく豊潤な水の恵を受けて、農業にいそしめる喜びをあらためて感謝しなければなりません。

長い間待ち望んでおりました、尾張西部地域の抜本的な排水対策につきましても、昭和60年度から、本格的な軌道にのり、一部着手と云った段階にきております。組合員各位の一層のご協力を御願ひ申し上げますと共に、今年一年健康でご活躍されんことを祈念して、新年のごあいさつといたします。



理事長 吉川 博

年頭のご挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。希望に満ちた昭和60年の新春を迎え心からお慶び申し上げます。

昨今の国の財政難と併せて、我国の農業は、誠に厳しい情勢下に置れ、食糧需給の不均衡など、多くの諸問題に直面しております。

このため、第三次土地改良長期計画の一層の推進を図ると共に、21世紀を見通した構造施策を進め、地域の実情にあった明るい活力ある農業の振興に努めていくことが、私共農業関係者に与えられた課題であると存じます。

このような情勢のなかで、海部土地改良区の皆様方におかれましては、多年の念願でありました世紀の大事業「木曾川用水事業」が末端に至るまで全て完成し、昨年、盛大に完工式典が催されましたことは、誠に喜びに耐えないところで

年頭にあって

明けましておめでとうございます。昭和60年の年頭にあたり、海部土地改良区の皆様には輝かしい希望にあふれた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私共公団は、中部管内におきましては、木曾川用水・愛知用水・豊川用水及び岩屋ダムの各管理事業を実施してそれぞれの受益地域に対して用水の供給を行うとともに、木曾三川に水源を求める地域の水需要を確保するため、三重用水・愛知用水二期・長良川河口堰・阿木川ダム・徳山ダム・味噌川ダムの各建設事業を実施しております。

昨年、木曾川用水の管理は、木曾川地域における降雨量が平年の約3分の2と極めて少なかったところから誠に厳しい

年頭のご挨拶

昭和60年の新しい年を迎え組合員の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年は、私達海部農地開発事務所が催しました土地改良事業に関する諸行事には格別のご理解と心からなるご指導ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

木曾川用水事業も万全の管理体制に入りました、昨年夏の新開紙上では方々で、たびたび干ば対策をとり上げられておりましたが、木曾川用水については、一度の干ば問題も起らず、豊かなみのりの秋を迎えられました。これは常日頃組合員の皆様方が努力されております、水利用対策が、その成果を発揮したものであり、ご同慶にたえません。

新しい年も、また豊かなみのりの秋を迎えられますことを、

年頭の挨拶

昭和60年の新春を心からお祝い申し上げます。

本管理業務に入りまして、本年で3年目を迎え、大きな事故もなく過ぎたことは、吉川理事長はじめ組合員の皆様のご指導とご協力の賜と厚く感謝している次第でございます。

昨年は、梅雨入り前に好天が続き、梅雨入りが待ち遠しいほどでございましたが、梅雨の期間は、適当な降雨に恵まれました。梅雨明け後は、高温と晴天により、農業用水の需要は、昭和58年のかんがい期（4月から9月の間）について第2位の記録となりました。このことは、降水量に関係しております。昭和59年のかんがい期の降水量は、平年に対して約20%も少ないものであります。

この高温と木曾川用水の清麗な水により、昭和59年の稲の収穫量は、前年を上回る収量となったという声を聞き、私共公団職員一同は、管理業務のやりがいを感じている次第で

愛知県農地林務部長 松永正守

ざいまして、皆様方と共に分ちあったあの感激は、今だ記憶に新しいところでございます。

そして、昨年は、完成されました施設によります本格的な管理体制で、順調な管理業務が遂行されたところでございます。特に、昨年は降雨が少なく、全国的に異常渇水という重大な事態を迎え、非常に苦慮致しましたが、当地域におかれましては、平常とかわらぬ管理運営がなされ、あらためて「木曾川用水事業」の成果が再認識されたのでございます。

今後は、これら施設が増々活用され、明るい活力ある農業経営の確立と地域の発展に大きく寄与されていくものと期待するところでございます。

最後に、海部土地改良区の一層のご発展と併せて皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げ年頭のごあいさつといたします。

水資源開発公団 中部支社長 中川 稔

流況にありましたが、水源である岩屋ダムを効率的に運用することによって、用水を安定的に供給することができ、皆様の御理解、御協力と相まって管理運営を円滑に推進することができましたことを、皆様共々に喜ばしく存じているところでございます。

本年は現在の厳しい経済社会情勢によって益々多様化する営農形態の変化に対応した用水管理を行い、地域の農業と産業の発展のために一層の努力を致したいと存じております。

最後に、海部土地改良区の一層の御発展とともに組合員の皆様にとりましては実り多い年となりますよう祈念しまして、年頭の御挨拶と致します。

海部農地開発事務所長 吉田 瑞穂

皆様方と一緒に私達農地開発事務所職員一同も一層努力致してまいりたいと念じております。

土地改良事業も、昨年の土地改良法等一連の改正がなされまして、土地基盤整備関係の事業のみでなく、今まで手がつけられてなかった、皆様方が日常生活の拠点となっております農村集落の環境整備にも、本格的に取り組めるようになりました。

新しい年は、組合員の皆様方のご理解を得まして、農村集落の環境整備に全面的に着手する年としてスタートし、心豊かな環境で日常生活に満喫し、農業経営の安定と、活力ある農業に発展することをお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

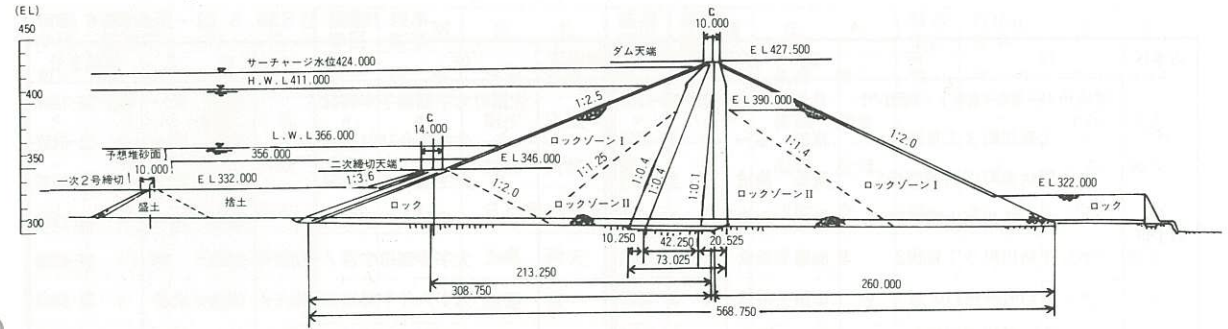
水資源開発公団 木曾川用水総合事務所長 松村 昭七

ざいまして。また、昨年中は、農業用水の取水計画の見直しのため、一部組合員のご協力を賜わり、水計算の一番基礎ともなるべき減水深調査を行い、無事完了いたしました。この調査は、当初の水計画と現実の水需要が、合致していないことから、愛知県海部農地開発事務所と共同して行ったものでございます。今後、この基礎資料をもとに、水利用の実態に添わせるべく水利計画の見直しを行い、組合員の皆様にはご迷惑をかけないよういたす所存でございますので、よろしくお祈り申し上げます。

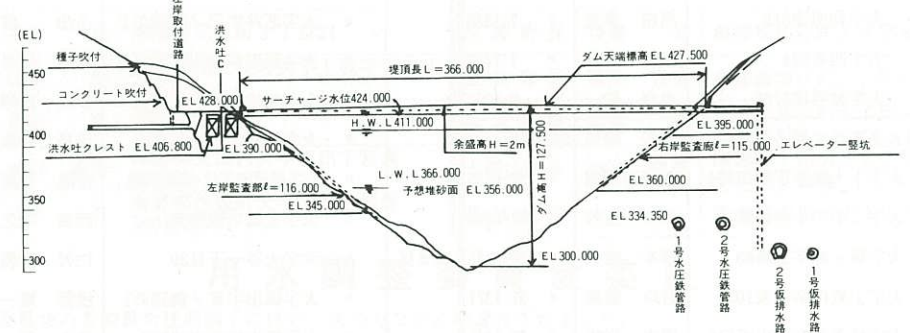
最後に、本年も昨年と同様、よりよい管理、より安い管理をめざし公団職員一同邁進して行く所存でございますので、理事長はじめ組合員の皆様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

!!木曾川用水の水がめ!! 岩屋ダム

●標準断面図



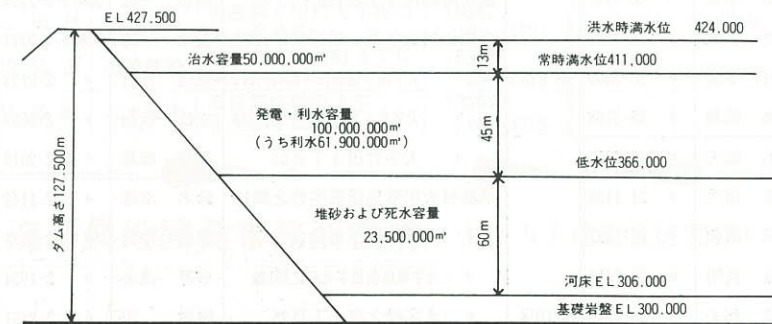
●縦断面図



■貯水池の用途別配分

洪水調節のために、常時満水位（E L 411.00m）から、サーチャージ水位（E L 424.00m）までの容量最大50,000,000m³を使用し、新規利水及び発電のために最低水位（E L 366.00m）から常時満水位（E L 411.00m）までの容量最大100,000,000m³、そのうち新規利水のために61,900,000m³の容量を使用する。

岩屋ダム貯水容量配分図



■総事業費 334億円

（負担率 治水31.56%、農水0.67%、水道12.42%、工水13.68%、発電41.67%）

■工期

着手 昭和42年5月
完了 昭和52年3月

■ダム・貯水池の諸元

- ダム 型式 傾斜土質遮水壁型
- ロックフィルダム
- 高さ 127.50m
- 堤頂長 366.00m
- 堤頂巾 10.00m
- 堤体積 約5,780,000m³
- 堤頂標高 427.50m
- 貯水池 流域面積（直接）264.9km²（間接）770.0km²
- 湛水面積 4.26km²
- 総貯水容量 173,500,000m³
- 有効貯水量 150,000,000m³

総代名簿

総代の任期満了(昭和59年6月20日)に伴う総代会総代選挙(昭和59年6月11日執行)の結果、新総代のみなさんが就任されました。

任期 自S59.6.21~至S63.6.20

Table with columns: 選挙区, 住所, 氏名, 電話番号. Lists representatives for various districts including 第1区, 第2区, 第3区, 第4区, 第5区, and 第6区.

役員名簿

役員(理事・監事)の任期満了(昭和59年7月2日)に伴う役員選挙(昭和59年6月30日執行)の結果次のみなさんが就任されました。

任期 自S59.7.3~至S63.7.2

Table with columns: 被選挙区, 理事別, 氏名. Lists board members for districts 第一, 第二, 第三.

参与名簿

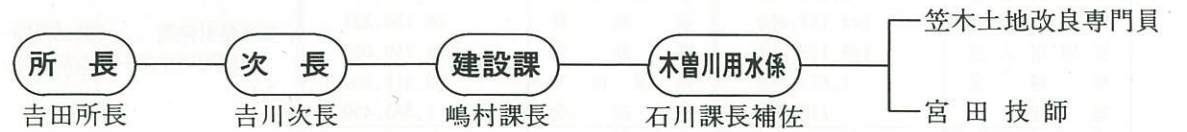
Table with columns: 職名, 氏名, 住所(市役所・役場). Lists participants for various roles like 津島市長, 祖父江町長, etc.

用水調整委員会委員

用水調整委員会の各委員の任期満了に伴い、次のみなさんが選任されました。

Table with columns: 市町村名, 氏名, 住所, 電話番号. Lists water adjustment committee members for various municipalities.

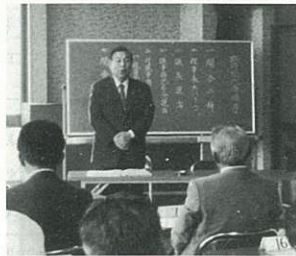
海部農地開発事務所機構 (主に当土地改良区関係)



《 昭 和 59 年 度 臨 時 総 代 会 》

昭和59年11月10日午前10時30分から海部津島土地改良会館3階大会議室において開催、次の第19号議案から第27号議案まで原案どおり可決決定されました。

- 第19号議案 昭和58年度一般会計収支決算並びに事業経過報告承認について
- 第20号 " 昭和58年度決済金積立金特別会計収支決算承認について
- 第21号 " 昭和58年度木曾川用水関連土地改良事業特別会計収支決算承認について
- 第22号 " 昭和58年度職員退職給与積立金特別会計収支決算承認について
- 第23号 " 昭和58年度財産目録の承認について
- 第24号 " 他目的使用並びに使用料徴収規程について
- 第25号 " 昭和59年度一般会計収支補正予算について
- 第26号 " 昭和59年度決済金積立金特別会計収支補正予算について
- 第27号 " 昭和59年度職員退職給与積立金特別会計収支補正予算について



▼昭和58年度決算▼ (昭和59年11月10日承認)

一 般 会 計

取 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
組 合 費	310,354,285 ^円	事 務 所 費	74,275,588 ^円	収支差引残高 15,156,726 ^円 (翌昭和59年度へ繰越)
補 助 金	133,357,335	事 業 推 進 費	7,512,977	
寄 附 金	14,660	事 業 費	5,931,961	
繰 入 金	50,225,000	維 持 管 理 費	30,739,229	
繰 越 金	19,409,043	償 還 金	148,876,137	
借 入 金	2,360,000	負 担 金	92,605,670	
雑 収 入	1,537,912	繰 出 金	131,295,436	
		還 付 金	34,580	
		記 念 事 業 費	10,829,931	
計	517,258,235	計	502,101,509	

決済金積立金特別会計

取 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
決 済 金	32,931,949 ^円	還 付 金	241,312 ^円	収支差引残高 11,350,559 ^円 (翌昭和59年度へ繰越)
繰 越 金	25,161,047	積 立 金	34,000,000	
雑 収 入	40,083,875	繰 出 金	50,225,000	
		貸 付 金	2,360,000	
計	98,176,871	計	86,826,312	

木曾川用水関連土地改良事業特別会計

取 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
特 別 負 担 金	2,262,000 ^円	事 務 所 費	3,921,857 ^円	収支差引残高 538,571 ^円 (翌昭和59年度一般会計へ繰入)
補 助 金	194,157,050	事 業 費	40,166,221	
長 期 借 入 金	135,179,850	委 託 費	234,759,000	
繰 越 金	1,871,368	償 還 利 子	52,816,900	
雑 収 入	115,681	負 担 金	1,383,400	
計	333,585,949	計	333,047,378	

職員退職給与積立金特別会計

取 入		支 出		摘 要
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額	
繰 入 金	1,850,000 ^円			収支差引残高 12,178,518 ^円 (翌昭和59年度へ繰越)
繰 越 金	11,953,354	退 職 給 与 金	2,485,050	
雑 収 入	860,214			
計	14,663,568	計	2,485,050	

▼昭和59年度予算▼ (昭和59年11月10日可決)

〔 一 般 会 計 〕

(単位：円)

取 入		支 出		摘 要
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額	
組 合 費	328,269,000	事 務 所 費	96,750,000	会議費、事務費
補 助 金	5,550,000	選 挙 費	2,000,000	
県 負 担 金	90,308,000	事 業 推 進 費	10,200,000	賦課台帳整備費
寄 附 金	1,000	事 業 費	9,900,000	
繰 入 金	54,820,000	維 持 管 理 費	35,515,000	公庫・県借入金償還金
繰 越 金	15,156,000	償 還 金	235,484,000	
借 入 金	4,350,000	負 担 金	105,833,000	各種団体負担金
雑 収 入	1,980,000	繰 出 金	2,100,000	
使 用 料	5,000	還 付 金	300,000	退職積立特別会計へ 過誤納還付金
		子 備 費	2,357,000	
計	500,439,000	計	500,439,000	

〔決済金積立金特別会計〕

(単位：円)

取 入		支 出		摘 要
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額	
決 済 金	25,000,000	還 付 金	1,300,000	過誤納還付金
繰 越 金	11,350,000	積 立 金	31,020,000	
繰 入 金	2,360,000	繰 出 金	43,840,000	一般会計へ
雑 収 入	42,000,000	貸 付 金	4,350,000	
		子 備 費	200,000	"
計	80,710,000	計	80,710,000	

〔職員退職給与積立金特別会計〕

(単位：円)

取 入		支 出		摘 要
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額	
繰 入 金	2,100,000	退 職 給 与 金	14,418,000	
繰 越 金	12,178,000			
雑 収 入	140,000			
計	14,418,000	計	14,418,000	